

# 7. 海底地形名称検索システムの整備について

技術・国際課 海洋研究室 安城たつひこ

## 1 はじめに

国際的な海底地形名の標準化を目的に、海洋情報部では、昭和41年2月に第1回「海洋地名打合せ会」(参加機関は、文部省、水産庁、気象庁、東大海洋研、日本学術会議、日本地理学会、日本海洋学会、日本水産学会、水路部)を開催し、15件の海底地名を決定した。以後、参加機関の変更等はあったが第24回「海洋地名打合せ会」(平成9年11月)までに国内において1,118件の海底地形名を決定してきた。

また、これを継承する形で第1回「海底地形の名称に関する検討会」(平成13年3月)を開催し、今年度の第5回「海底地形の名称に関する検討会」(平成19年4月)までに計66件を決定した。

これらの成果は、各会議毎の資料として取りまとめられているが、とくに古い昭和40~50年代の資料については、昨今の至急の問い合わせに対して、必ずしも早急に対応できる形式にはなっていない。

そこで、これらの海底地名が海図等に記載された経緯等を整理するための調査・研究を行い、関連する問い合わせ等にも的確に対応できる体制を整備するための研究が求められた。

## 2 研究の概要

これまでに「海洋地名打合せ会」(計24回)及び「海底地形の名称に関する検討会」(計5回)で決定されている約1,200件の海底地形名称について、個別名称ごとの付与経緯についての調査を行った。さらに、これらの全個別海底地形名称について、GEBCOに登録の有無、日本海図に表示の有無等をそれぞれについて調べるとともに、今後のGEBCOへの地名登録申請等に際しての基礎的な判断材料に資するための研究を行い、海図編集のみならず海底地形に関する対外的な問題等に適切に対処するための資料として、IT技術を利用するなどの付加価値を付けて利活用するための研究を行った。

### (1) GEBCOに登録された海底地形名称について

「海底地形名に関するGEBCO小委員会」と「国連地名専門家グループの海洋及び海底地形作業部会」が、国連地名会議の決議にしたがって、海底地形名の標準化を推進する目的で協同作成した、「海底地形名の標準化」では、以下の項目についてのガイドラインが示されている。

- ・海底地形名の提案様式
- ・海底地形名標準化の指針
- ・海底地形命名の原則
- ・海底地形用語と定義

なお、2007年6月現在のGEBCOに登録されている海底地形名称は、世界で約3,400件にのぼる。

### (2) 今後の海底地形名称情報の整理方法

国内における決定地名とGEBCOの登録地名との整合性を考慮しつつ、海底地形名称情報の整理方法を検討し、従来の帳票管理から個別の海底地形画像を付与したデジタル管理への移行について考察した。(図1参照)

### (3) 整備する海底地形名称の区域について

大洋水深総図(GEBCO)第5版で日本が編集を担当した『5.06図』の包含範囲(0°~46°40'N, 90°E~180°E)を本研究で整備する区域とした。

### (4) GEBCOと国内のデータを合わせた海底地形名称情報の整理方法

各個別の海底地形情報について、国内での決定経緯やGEBCOに登録の有無などがリンクした形態で容易に視認できるように、また、逆にGEBCOに登録の情報から国内での決定経緯がわかるような表示方法で作成するように工夫をした。

## 3 まとめ

これまでに決定している全ての国内の海底地形名称と我が国が整備すべき区域内におけるGEBCO登録地名の当該海底地形図画像との照合が容易に可能な「海底地形名称検索システム」を整備することができ、検索が可能となったので、その具体的な表示内容を次頁に示した。(図2参照)

### 日本国内の決定名称の帳票ファイル

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
種類	Japan_ID	決定地名	ローマ字名称	1緯度	1経度	2緯度	2経度	3緯度	3経度	4緯度	4経度	概要	
1	Smt2	01001	襟裳海山	Erimo Seamount	40-54-00	144-57-00							ソ連観測船がはじめて地形を確認した記録があり、別名シノとした。
2	Smt2	01002	拓洋第1海山	Takuyo-Daichi Seamount	41-16-00	145-57-00							駒橋が最初の発見であるが、拓洋が精密測量をしている。
3	Smt2	01003	凌風第2海山	Ryofu-Dairi Seamount	40-38-00	146-51-00							
4	Smt2	01004	凌風海山	Ryofu Seamount	38-00-00	145-58-00							



### GEBCOの登録名称の帳票ファイル

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
No	Geographic Name	Generic Type	Latitude	Longitude	Chart Typ.	Ref.	History	Remarks	Japan_ID
001	Melanesian	Basin	00°00' N	166°00' E	GEBCO GEBCO INT	5.00 5.06 5.10		1984.2 Japan	07050
002	Mussau	Trough	1°00' N	148°50' E	GEBCO INT	5.06 506		1984.2 JP Shown as Trench in the ACUF Gazetteer.	07045
003	Cocos	Basin	1°00' N	93°00' E	INT INT	71 73	Accredited by: SCGN (Apr. 1987)		00003
004	Nias	Basin	1°15' N	98°00' E	GEBCO	707	Accredited by: SCGN (Apr. 1987)		00004

図 1: 帳票管理から画像付 Web 管理へのファイル構成のイメージ

### 海底地形名称検索システム

#### 日本国内決定名称

ID_No.	808
決定地名	七曜海山列
ローマ字	Shichiyō Seamount Chain
会議	第15回海洋地名打合せ会
会議年月	1988-11
種類	Smc2
地図番号	15040
範囲	27-40-00N 140-48-00E 29-29-00N 140-20-12E 28-34-00N 140-38-00E
海域コード	
海図	1001
由来	婦婦岩と西ノ島の間へ1列に並ぶ海山列。北から日曜、月曜、火曜と続き、土曜まで7つの海山がある。
水深	371m(土曜海山)
参考	上記7海山の総称

#### GEBCO登録名称

ID_No.	281
地名	Shichiyō
タイプ	Seamount Chain
地図番号	15040
位置	27-40-00N 140-48-00E 29-29-00N 140-20-12E 28-34-00N 140-38-00E
参考	GEBCO-5.06
履歴	Proposer: Japanese Committee on U.F.N, Apr. 2001 Accredited by: SCUFN (Apr. 2001) 'Shichiyō' is the Japanese term for 'seven days of the week'.
コメント	

図 2: 検索システムにおける国内で決定され GEBCO にも登録されている海底地形名称の表示例